

市民の命と暮らしを守る 大きなやりがいと使命感

危機管理課 佐々木さん

大学では地域行政を学び、ゼミでは防災について研究してきました。この学びを活かして地域の課題解決に貢献し、災害時の被害を少しでも減らしたい。そう考えるなかで、祖父母も暮らす西尾市の「安心して暮らせるまちづくり」の力になりたいと思い、志望しました。



印象に残っている仕事



危機管理課では、以前は交通安全への取り組みや啓発に携わり、現在は津波避難タワーの建設に向けた地域への説明や、関係各所との調整を行っています。津波避難タワーの建設は「市民の命を守る」仕事です。地域への説明を通じて、防災への関心や不安の声に直接触れ、自分の仕事が人の命に関わるのだと改めて実感しています。

仕事のやりがい



災害時の避難場所となる施設や津波避難タワーの整備といったハード面と、防災・減災意識の啓発といったソフト面。この両面から市民の命と暮らしを守れることに、大きなやりがいと使命感を感じています。そして、地域の方々から期待や励まし、感謝の言葉を直接いただけることが、大きなやりがいでもあります。

職場の雰囲気



入庁前は、公務員の職場や働き方に堅いイメージを持っていました。でも実際は、一人で集中して業務に取り組む時間と、皆で活発に意見交換する時間にメリハリがあります。上司や同僚に支えられ、チームと感じられる明るい雰囲気のなか、前向きに働くことができます。